Next Challenge
次代をつくるチカラ

「無病」時からの健診重要

健康の維持・増進は自己管理が基本。そのためには身体の状態を把握する定期的な健康診断（健診）が重要だ。健診で採血や検尿、心電図検査などを行うのが臨床検査技師。その役割や次世代の健診スタイルについて、日本臨床衛生検査技師会副会長の才藤純一氏に話を聞いた。

日本臨床衛生検査技師会 副会長
才藤　純一 氏

健康の維持・増進が大きな関心事に

日本の65歳以上の高齢者は2006年に人口の2割を超え、現在では4人に1人という高齢化社会だ。内閣府が20歳以上を対象とした「国民生活に関する世論調査」によれば、日常生活の中で悩みや不安を感じている人は全体の約7割。「老後の生活設計」と回答した割合が最も多く、次いで約半数が「自分の健康について不安」と回答。若い世代から高齢者まで健康の維持・増進は、国民の大きな関心事といえる。

健康への意識の高さは、特定保健用食品（トクホ）や健康食品市場規模からもうかがえる。09年度のトクホの市場規模は、1997年の約1300億円から約5500億円に拡大、そのほかサプリメントなどの健康食品の市場規模も96年の約6500億円から約1兆1800億円と大きな市場に成長した。トクホ表示制度は、体調を調節する機能などの健康増進を強調する表示について国が許可・承認する制度で、現在900を超える食品が表示許可を受けている。

健康意識は高まっているが、本来、健康のために何が不足しがちなのか分からなければ、いくらサプリメントなどを摂取しても過剰摂取や期待した効果が得られなかったりする可能性もある。そのためまずは健診を受け、客観的な検査数値を基に自分の身体の状態を知ることが不可欠だ。

皆さんも健診で採血や検尿、心電図検査などを受けたことがあると思うが、これらを臨床検査という。臨床検査は検体検査と生理機能検査の2つに分かれる。採取した血液や尿、細胞の一部などで体の状態を調べるのが検体検査。肝機能、腎機能、脂質などのデータが客観的な数値で表される。一方、心電図や脳波などの測定は生理機能検査と呼ぶ。様々な装置を使用して患者さんの身体を直接調べる方法だ。

これらの検査を行うのが臨床検査技師で、高校卒業後に大学や短大・専門学校で養成課程を修了し、国家試験に合格した臨床検査のエキスパートである。臨床検査はかつて医師が行っていたが、検査が複雑多岐になるにしたがって分業が進み、現在では検査の専門家として当技師会に加入する約5万人の臨床検査技師が病院や検査所、研究所などで活躍している。

働き盛りの健診不可欠

2008年4月からスタートした特定健康検査（特定健診）は、企業の健康保険組合や市町村の国民健康保険などの保険者が運営主体となり、40～74歳までの被保険者、被扶養者全員を対象に健診・保健指導を義務付けている。厚生労働省の調べによると対象者数は約5220万人だが、09年度の受診率は4割程度にとどまっている。

特定健診では生活習慣病の危険性が高まる「メタボリックシンドローム（メタボ）」に着目。腹囲や血圧、血糖値などからメタボの該当者や予備群と判定された場合、治療薬を服用している人などを除き、食事や運動に関する特定保健指導を受けるとしている。しかし指導対象者のうち、保健師などによる最長6カ月の指導プログラムを終了した特定保健指導終了率は約13％に過ぎない。

メタボ体質な人は糖尿病や高脂血症、心臓病などの重大な病気を引き起こす可能性が高まる。このような生活習慣病は発症してから重症になるまで自覚症状が表れにくいことが多く、健診で気付いたという話をよく聞く。

健康は自己管理が基本だ。これまでは体調不良を自覚して原因究明のために検査を受けていた人が多いと思うが、今後は健康な状態である「無病」の段階から健診を受けていれば病気の早期発見に役立つ。万一病気を発症しても本人の身体的・精神的、経済的負担の軽減になるだろう。

さらに健診データを「臨床検査生涯手帳」といった冊子に蓄積すれば、体質や数値の傾向が分かりやすく適切な治療につながる。例えば肝機能を表す数値が健康な人の基準値を超えたとしても、以前から高かったのか急激に上昇したのかでは、治療法も異なるはず。そういった意味で、幼いときから検査データを生涯手帳に記録できれば理想的だ。

とくに生活習慣病を予防するには、比較的健康な20～30代の若いうちから自分の身体の状態に関心を持つことだが、この年代の健診や人間ドックの受診率は伸びていない。何か病気が発見されたらといった心理的な不安もあるが、この年代は企業の中核を担う働き盛りで、なかなか健診を受ける時間がないのも現実だ。身近な場所で手軽に検査できる環境づくりが大きな課題といえる。

そこで、次世代の健診スタイルとして注目しているのが「街角ラボ」。臨床検査技師が医療機関から外に出て、街中で各種検査が受けられる簡易健診ラボラトリーだ。モデルケースとして香川県臨床検査技師会が国民健康促進事業の一環として取り組んでいる。キャッチフレーズは「気軽に何時でも出来る臨床検査」。高松市内の地元百貨店内にある街角ラボは、買い物ついでに気軽に検査に立ち寄れる。

ここではメタボ血液検査や肝機能血液検査、貧血血液検査などを受けられる。指先穿刺（せんし）による採血後、約10分で検査結果が出るシステムだ。それぞれの健診者に割り振った健診者番号で検査結果を管理し、過去の結果もインターネット上で確認できる。

このラボは店舗に併設する固定型だが、イベントやセミナーなどに連動した移動型も今後の検討課題だ。いずれにしても香川での試みを参考にしながら、他の地域でも事業化を進めたい。当技師会内に新設する予定の「日臨技総合研究所」を中心に、運営形態や事業化のための法的要件などを検討する。

その他、受診機会を増やす方法としては、通勤や移動時間の合間に健診を受けられる「健診スタンド」構想もある。主要駅構内に設置し、出張の多いビジネスパーソンであれば飛行機や新幹線に乗る前に採血する。目的地到着時には結果が分かるという仕組みだ。こういったことが実現できれば、接待の酒量も調節できる。まさに次世代の健診スタイルといえる。荒唐無稽に聞こえるかもしれないが、大切なことは気軽に健診を受けられる環境づくりなのだ。

香川県高松市の街角ラボ。地元百貨店内にあるため、買い物ついでに立ち寄れる。約10分で結果が出る手軽さが話題に

街角ラボの進展に期待

信頼性向上に力 認証制度創設も

気軽に健診を受けられたとしても、検査データの信頼性や臨床検査技師のレベルが向上しなければ意味がない。そこで当技師会として検査データの信頼性を保証する「精度保証施設認証制度」を創設した。まず全国の病院や検査センターなど364施設を認証し、今後は900施設の認証を目指す。さらに臨床検査室の品質と能力の向上を促進するため、ISO（国際評価機構）15189の認証取得なども検討する予定だ。

当技師会は人を財（たから）、〝人財〟と考えている。人財育成では若手の教育と同様に、現場でリーダーシップを発揮する臨床検査技師の育成も急務。来年度から「総合監理検査技師制度」を立ち上げ、検査現場はもとより、臨床検査業界の中長期課題を解決できる人財育成にも取り組む。

当技師会は来年7月、創立60年を迎える。今後も皆さんの安全・安心な医療に貢献する臨床検査技師の育成と検査の重要性の周知徹底に努めていく。

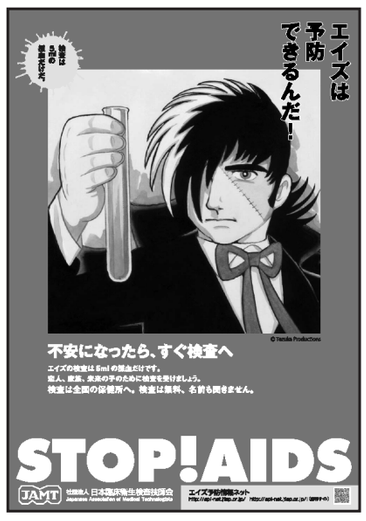
（さいとう・じゅんいち）
1949年3月生まれ。86年日本臨床衛生検査技師会入会。理事、常務理事を歴任し、2010年より現職。現在、東京歯科大学市川総合病院臨床検査科勤務

広告
企画・制作＝日本経済新聞社
クロスメディア営業局

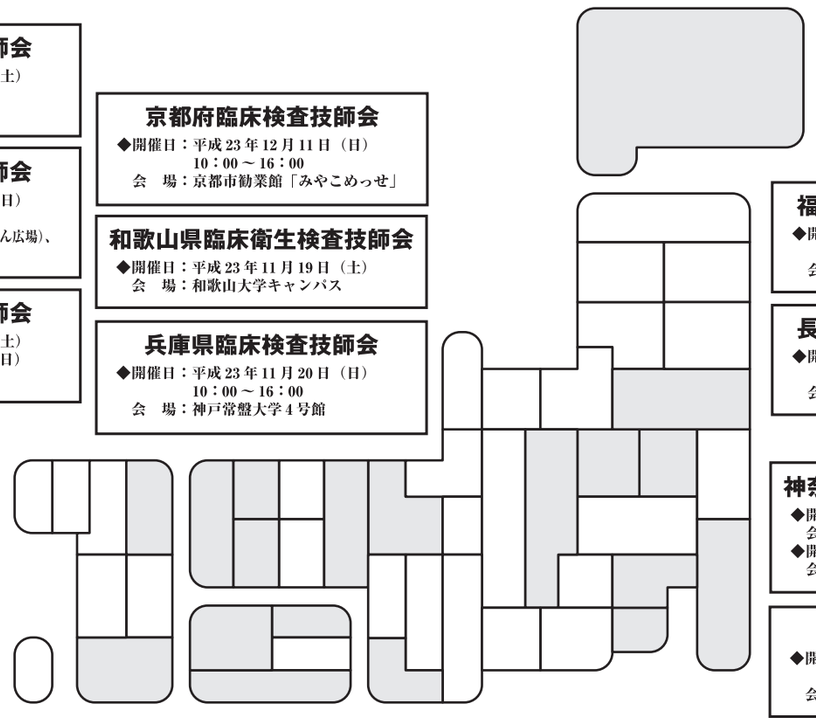
STI・HIV 感染予防教育キャンペーン 全国展開中

12月1日は世界エイズデーです。日本臨床衛生検査技師会は全国の技師会と協力し、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）および性行為感染症（STI）について正しい知識を伝え、感染を予防するキャンペーンを展開しています。

ポスター　©Tezuka Productions



＝キャンペーン実施都道府県



島根県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年11月27日（日）
10：00～12：00
会　場：出雲商工会議所

山口県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年11月12日（土）～13日（日）
会　場：山口大学医学部　医学祭

広島県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年6月4日（土）
12：00～19：00
会　場：広島市　アリスガーデン
◆開催日：平成23年6月5日（日）
10：00～17：00
会　場：福山市　福山市すこやかセンター

香川県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年10月22日（土）
10：00～16：00
会　場：香川県立保健医療大学

愛媛県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年11月27日（日）
13：00～17：00
会　場：いよてつ高島屋前（坊ちゃん広場）、銀天街、大街道出入口

高知県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年10月22日（土）～23日（日）
会　場：高知学園短期大学

京都府臨床検査技師会
◆開催日：平成23年12月11日（日）
10：00～16：00
会　場：京都市勧業館「みやこめっせ」

和歌山県臨床衛生検査技師会
◆開催日：平成23年11月19日（土）
会　場：和歌山大学キャンパス

兵庫県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年11月20日（日）
10：00～16：00
会　場：神戸常盤大学4号館

大分県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年12月3日（土）
9：00～14：00
会　場：学校法人平松学園

鹿児島県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年11月20日（日）
会　場：鹿児島中央駅（よかセンター）
◆開催日：平成24年2月25日（土）
会　場：鹿児島純心大学

北海道臨床衛生検査技師会
◆開催日：平成23年12月10日（土）
13：00～15：00
会　場：JR札幌駅南口広場周辺その他
◆開催日：平成24年3月
会　場：検査技師養成校

福島県臨床衛生検査技師会
◆開催日：平成23年12月1日（木）
16：00～18：00
会　場：郡山駅　西口駅前広場

長野県臨床衛生検査技師会
◆開催日：平成23年12月3日（土）
10：00～15：00
会　場：イオン佐久平ショッピングセンター

神奈川県臨床衛生検査技師会
◆開催日：平成23年11月7日（月）
会　場：県立秦野高校
◆開催日：平成23年11月14日（月）
会　場：県立大磯高校

東京都臨床検査技師会
◆開催日：平成23年12月3日（土）
14：30～17：00
会　場：中野サンプラザ

栃木県臨床衛生検査技師会
◆開催日：平成23年12月を中心
FM栃木　栃木県近郊へラジオ放送

群馬県臨床衛生検査技師会
◆開催日：平成23年12月1日（木）
会　場：高崎駅　西口、東口
7：00～8：30
会　場：前橋プラザ元気21
13：00～16：00

千葉県臨床検査技師会
◆開催日：平成23年11月23日（水・祝）
10：00～17：00
会　場：市川市文化センター
◆開催日：平成23年11月27日（日）
10：00～17：00
会　場：市川市行政サービスセンター（JR市川駅前）

JAMT　社団法人 日本臨床衛生検査技師会
Japanese Association of Medical Technologists
http://www.jamt.or.jp/